

総合保健福祉計画で推進する包括的支援体制のイメージ

総合保健福祉計画策定にあたっての課題等

1 市の課題 A1 高齢者の増加等により、サービス提供体制に見直しが必要。 A2 複雑多様化した生活課題への相談支援体制が必要。 A3 地域のネットワークの役割整理や統合が必要。 A4 特定健康診査、がん検診等の受診率が低い傾向にある。	2 市民の意見 (アンケート、ワークショップ等より) B1 1つの相談窓口で何でも相談したい。(なんでも聞いてくれる場) B2 アクセスしやすい。(近くにある) B3 専門知識を持った相談員に相談したい。 B4 出産・子育てに関して相談できる人が身近にいてほしい。
---	---

3 国の方向性 C1 「我が事・丸ごと」の地域共生社会の実現 C2 包括的な相談支援体制 C3 住民主体の課題解決力強化

1~3をふまえて、
 総合保健福祉計画では**各分野に共通する、**
基盤づくりにあたる事項について記載

総合保健福祉計画で推進する包括的支援体制 (平成30年度以降年次的に整備)

